



平成23年8月22日

卓話 『ガバナー公式訪問に向けて』

RI第2750地区 山の手東グループ ガバナー補佐
服部 陽子 様

皆様こんにちは。本日はロータリー財団の未来の夢計画、RIが推奨する長期計画についてお話しします。2017年の財団100周年に向けて制度の中身を変えましょうというが未来の夢計画で、何が変わるかというと寄付金の使い方が変わります。まず考え方として資金的スケールの大きいプロジェクトと小さめのプロジェクトを分け、小さめのものは地区の裁量に任せましょうということです。それから平和と紛争の予防と解決、疾病的予防と治療、水と衛生設備、母子の健康、基本的教育と識字率の向上、経済と地域社会の発展の6つを重点分野と決め、これにあたるプロジェクトとそうでない支援を違う財布から出しますということ。クラブの側から見てどう変わるかというと、財団に2つある補助金、地区補助金とマッチンググラン트ですけれども、地区補助金の方は対象となるプロジェクトの範囲と地区の裁量の範囲が広がり、マッチンググラン트の方は金銭的なスケールが大きいものでないと対象にできなくなって、いくつかのクラブが合同で奉仕プロジェクトを行うケースが増えてくると思われます。もう1つ変更点として、地区補助金、今はいつでも申請でできますけれど、新しい制度では前の年度に承認されなければならなくなります。

次は長期計画です。今のクラブの姿を見つめ、3年後、5年後にどんなクラブになっていたいかを思い描き、1年目、2年目、3年目はこういうことをしましょうという計画を立てる。これが長期計画です。この計画を立てるにあたってRIがぜひ大事に考えてくださいと言ってい

る5つの価値観が奉仕、親睦、多様性、高潔性、

リーダーシップです。多様性はクラブの会員基盤を考えるときによくいわれますけれど、奉仕プロジェクトを考えるときにもこの多様性を考えるといいと思います。もう1つ私はロータリー・クラブの個性という意味での多様性も大事だと思います。それぞれのロータリー・クラブがのびのびと個性を発揮することがクラブの魅力につながり発展にもつながる。

さて長期計画においてRIは3本の柱がありますよと言っているんですね。クラブの強化、人道的奉仕の重点化、ロータリーのブランドの3本。このうちクラブの強化ですが、元の英語はストロングクラブです。力のあるクラブ。ではクラブの力とは何でしょうか。会員の増強、クラブの適切な運営、効果的な奉仕プロジェクト等々、みんなクラブの力だと思いますが、それを可能にするのは一人一人の会員の力です。一人一人の会員をすばらしい存在にならしめることこそクラブの力ではないでしょうか。あの人はおせっかいで困るという人もロータリー・クラブに来れば親切で世話好きということになるかもしれません。お互いに励まし合い、助け合い、忠告をしあい、それぞれが気持ちよく持てる力を発揮してお互いに成長することができる。それがストロングクラブだと思います。

今日はありがとうございました。

